# 行政評価シート（事務事業評価）

| 評価年度 | 28年度 |
|---|---|

| 事業名 | 橋梁長寿命化推進事業 | 担当課 | 建設課 |
|---|---|---|---|
| 細分化した事業名 | | | |

## 1 計画（PLAN）：事務事業の計画的位置づけ

| | | |
|---|---|---|
| 第6次長期総合計画での目的体系 | 基本方向 | 心地よい定住環境のあるまちづくり |
| | 政策 | 便利な生活のための都市基盤の整備 |
| | 施策 | 道路の整備 |
| 関連する個別計画等 | | 根拠条例等：道路法 |

## 2 計画（PLAN）：事務事業の概要

| | |
|---|---|
| 事業の目的 | 定期的かつ継続的な点検、及び修繕を計画的に実施し、道路施設の安全確保を図る。 |
| 事業の手段 | 計画に沿って橋梁等の定期点検を実施。<br>長寿命化計画、及び定期点検により修繕の必要な橋梁等を補修していく。 |
| 事業の対象 | 地域住民、及び道路施設利用者 |

## 3 実施（DO）：投入費用及び従事職員の推移（インプット＝費用＋作業）

| | | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
|---|---|---|---|---|
| A 事業費 | （千円） | 14,248 | 8,430 | 43,720 |
| 財源内訳 | 国・県支出金 | | 4,180 | 22,158 |
| | その他（使用料・借入金ほか） | | | |
| | 一般財源 | 14,248 | 4,250 | 21,562 |
| B 担当職員数（職員 E） | （人） | 0.11 | 0.11 | 0.18 |
| C 人件費(平均人件費×E) | （千円） | 715 | 748 | 1,209 |
| D 総事業費(A+C) | （千円） | 14,963 | 9,178 | 44,929 |

| | |
|---|---|
| 主な事業費用の説明 | 橋梁定期点検業務委託、橋梁補修工事（H27 年度から実施） |

注）平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した 25 年度（6,491 円）,26 年度（6,794 千円）,27 年度（6,715 千円）を使用しています。

## 4 実施（DO）：事業を数字で分析（アウトプット＝事業量）

| | | 指標名 | 指標の算出方法 | 実績値 25 年度 | 実績値 26 年度 | 実績値 27 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 活動指標 | 1 | 工事、委託計画件数 | 工事、委託予定件数（件） | 1 | 2 | 3 |
| | 2 | 工事、委託実施件数 | 工事、委託実施件数（件） | 1 | 2 | 3 |
| | 3 | | | | | |

| 妥当性 | | □ A 妥当である　■ B ほぼ妥当である　□ C 妥当でない |
|---|---|---|
| 上記活動指標と妥当性の説明 | 1 | 定期点検を行うことにより、現状を把握でき、補修計画が立てられる。 |
| | 2 | |
| | 3 | |

5 評価（CHECK）： 事務事業評価 （アウトカム＝成果・効果）

| | | 指標名 | 指標の算出方法 | 実績値 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
| 成果指標もしくはまちづくり指標 | 1 | 実施率（%） | 工事、委託実施件数／工事、委託予定件数 | 100 | 100 | 100 |
| | 2 | 橋梁定期点検件数（橋） | | | 1 | 84 |
| | 3 | 橋梁定期点検の進捗率（%） | 点検累計件数／計画点検件数（217 橋） | | 0.5 | 39 |

| 成 果 | | □ A 上がっている ■ B ほぼ上がっている □ C 上がっていない |
|---|---|---|
| 上記指標の妥当性と成果の内容説明 | 1 | 継続的な施設状況の把握、及び管理ができる。 |
| | 2 | |
| | 3 | |

| 事務事業総合評価 | □ A 期待以上に達成 ■ B 期待どおりに達成 □ C 期待以下の達成 |
|---|---|

6 改善（ACTION）：今後の事務事業の展開

| 今後の事業展開 | □ 拡大（コストを集中的に投入する） ■ 一部改善（事務的な改善を実施する）<br>□ 全部改善（内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要） □ 縮小（規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する）<br>□ 廃止（廃止の検討が必要） |
|---|---|
| 事務事業の改善案 | 改善の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか）<br>28 年度の改善計画（今後の事業展開説明）<br>本年度行う、定期点検を年度内に完了させ、今後、必要な補修箇所の把握等に利活用する。 |
| 過去の改善経過 | |
| 課長所見 | 定期点検等を早期に完了するよう努め、補修が必要な箇所を把握し、危険な箇所は早急に補修していくこと。 |